

ふもと  
城山の麓で遊んでます  
城山児童館



グラウンドで...



おやつと宿題♪

～会員のみなさんへ～



**第1回 福祉体験教室**  
『☆わくわく!!とど塾☆』  
フロアホッケーに  
チャレンジしました♪  
5月24日(土)に、第  
1回福祉体験教室『☆わ  
くわく!!とど塾☆』が  
市内の小学4～6年生対  
象で行われました。今回  
は、飯山小学校の体育館  
をお借りして、フロアホッ  
ケーに挑戦しました。  
フロアホッケーとは、

もともと障害者スポーツ  
として発展したものです  
が、今では全ての人が楽  
しめるユニバーサル・ス  
ポーツとしても日本国  
内で普及しています。ス  
ティックでドーナツ状の  
フェルト盤を奪い合い、  
相手のゴールにシュート  
してチームで得点を競い  
合うゲームです。  
フロアホッケーに挑戦  
した子どもたちは、今回  
がとど塾の初回という  
こともあり、少し緊張し  
た表情で遠慮がちにプ  
レーしてましたが、次第  
に慣れてくると大きな声  
でチームメイトの名前を  
呼びながらパスを回した  
り、ゴールが決まるとハ  
ッパを打っていました。

イタツ  
で喜んだ  
りと、上  
手に「ミ  
ニケーシ  
ョンを取  
りながら  
とても楽  
しい時間  
を皆で持  
てました。  
運動が得  
意な子も苦  
手な子も、元  
気な子も引  
込み思案な  
子も、お互  
いに助け合  
いながらプ  
レーするこ  
とで、支え  
あう気持ち  
が生まれる  
たように感  
じられました。  
今後、『☆  
わくわく!!  
とど塾』の  
活動を通  
して、子ど  
もたちに福  
祉の心が育  
っていくこ  
とを期待し  
ています。  
現在も塾生  
を募集して  
いますので  
、ぜひご参  
加ください!!



～人生の先輩方へ～

市老連の組織運営対策  
委員会設置について

飯山市老人クラブ  
連合会副会長  
小林 常男  
増加する高齢化社  
会に伴い、老人クラ  
ブが減少しています。  
市老連では、地域  
支え合い活動と高齢  
者福祉向上のため若  
手高齢者の加入促進  
に努めていきたいと  
もっています。どん  
な高齢者も何れは姥  
捨山行き(高齢者とし  
て疎まれる立場にな  
る)可能性がありま  
す。  
友愛の精神で自分  
の知識や体験を世の  
為、人の為に活かし  
て、いい山(飯山)を  
目指してみんなで健  
康で明るく元気に安  
全で安心して暮ら  
せる地域づくり、介  
護予防等に市の行政  
などの支援を得まし  
て市老連の復活のた  
め組織運営改革に努  
力しますので市民の  
皆さんのご支援をお  
願い申し上げます。

市老連役員紹介

 役職：市老連会長 氏名：東條 寅雄 一言：これからよろしく。	 役職：市老連副会長 氏名：小林 常男 一言：ご支援をお願いします。	 役職：市老連副会長 氏名：高主 精一 一言：老人クラブの仲間を増やすことが課題です。クラブの活性化に尽力をしたいと思います。
 役職：市老連会計担当理事 氏名：平野 富太郎 一言：自分の未知の世界に挑戦しよう。	 役職：市老連常任理事 氏名：田中 栄三 一言：老人クラブの活性化のお役に立てばと思っ仲間に入れてもらいました。	 役職：市老連副会長 氏名：津端 喜代子 一言：1年間よろしくお願います。

役員紹介

先月からご紹介していま  
す社協の役員ですが、今回  
は副会長です。  
この方は、去年まで飯山  
地区社協の会長をされてい  
ました。お住まいは鉄砲町  
です。ご存知の方はよく  
ゴソジのお店をされています。  
近所では「お母ちゃん」  
で通っているとか...  
では、どうぞ！



役職 飯山市社会福祉協議会副会長  
氏名 大塚 博子  
年齢 ?  
趣味 筆を運ぶこと。  
わずかな庭先の花の手入れをする事。  
愛犬で一日二度、街中をみながら散歩すること。  
一言 隣近所の方々と仲良くして、昔のようなとなり組を大切にしたい。遠くの方より近くの方といわれます。

～MEMO～  
大塚副会長は、長年に亘る民生委員としての活躍に対し、過日、厚生労働大臣表彰をされました。

神明町の老人クラブ活動について

神明町老人クラブ  
会長 高主 精一  
神明町長寿会は毎月一日が定例会で、アジサイ街道の手入れをし、公民館でお茶を飲みながらおしゃべりをする。毎月映画会をやっているが、映画の器械は全部自前で揃えた。会費が高いから買ったのだ。春・秋の親睦旅行も年々参加者が増えていく。今年の春は20名が参加した。秋には芋煮会もある。毎年三月総会を兼ねて「物故者の慰霊法要」を行っているが、区内の適齢者の落ち零れを防ぎ、会員の心を一つに纏めている。大きな基となっている。神明町の世帯数は72だが、会員は50名もいる。これも自慢の一つである。  
公民館が新築落成した時は、其の年の秋そばで区民を招待、振舞ったこともある。一昨年は、

「光輝高齢者」だ。  
老人クラブの皆さんがこんな気持ちになつて呉れたら、老人クラブも退潮ムードから立ち直れるのではないかとと思う。「老人クラブの存在意義」は「健康・友愛・奉仕」に尽きると思う。やる気になれば、健康で明るく輝いた老人クラブになって生き返ることが出来る。

きいき中高年者会活動支援事業助成金」を受けて、アジサイの植栽を続けている。  
わたしは現役のとき、何処の老人が知らないが、いろいろ尽くして来た。お陰で今は何処の何方か知らないが、いろいろ貰える立場になった。ただ貰いつ放しでは済まない。せめて自分の力の範囲内で世のため人のために尽くしたいと思っ動いている。後期高齢者じゃなくて、

らは県の長寿開発センターから「いきいき中高年者会活動支援事業助成金」を受けて、アジサイの植栽を続けている。  
わたしは現役のとき、何処の老人が知らないが、いろいろ尽くして来た。お陰で今は何処の何方か知らないが、いろいろ貰える立場になった。ただ貰いつ放しでは済まない。せめて自分の力の範囲内で世のため人のために尽くしたいと思っ動いている。後期高齢者じゃなくて、